

万人起業家社会の夢

2012.2.4 塩沢由典

(1) 万人起業家社会とは

積極的には

個人的所有(個体的所有)、諸個人の自由な連合、アソシエーションを実現

消極的には

組織を否定、法人を認めず

具体策

原資 「生活建設・維持ファンド」 リシュカ(ハンガリーの経済学者、後2)
出生時に社会から平等配分 死亡時に全部社会に返上(社会が没収)

企業

個人起業家の連合体 典型的イメージ>>演劇・ミュージカル型集団

ひとつの委員会(銀行など、シ15)

生活建設・維持ファンドの管理をおこなう銀行のようなもの
社会的資産(資材・土地)などの利用権は、競争入札によっておこなう。
(最低限の警察力? 立法議会? 法の執行機関?)

市場

各個人は、市場における自由取引に参加。
社会的資産の使用料を委員会に納入する他は、自由。

(2) うまく機能するか

スタニスラフ・アンドレスキー『社会科学の神話』(呪術としての社会科学)1983.

社会に関する認識: 改造主義者と保守主義者との熾烈な討論から深まった。
小野瞭さん 新しい社会を構想する人 vs. 塩沢由典 うまくいくかな?

社会主義(共産主義)の反省

ソ連の(人類史的)経験 計画経済だったから、うまくいかなかった。
セルツキー(後3、35歳、修士1年、杉原四郎、自分から提案して1対1で検討)
計画>巨大な計画局>権威主義的社会 vs. 民主主義・自由 両者は相容れない。
組織(法人)の否定
協働組合(シ12)「協同組合においては一人一票原則が閉鎖的悪平等主義に転化」

機会の平等

個人の格差を作るもの エートス(家庭環境) 文化資本(ブルデュー)
起業家精神 ベンチャー振興でいちばん効果の上がらないこと
公教育だけで万人が起業家になるか。

起業家に向かない人はどうする?

経営者(総合プロデューサ)に不向きな人、自分は人に指示される方が好きという人。

この点だけなら、ベーシック・インカムの方がやりやすい？

企業の蓄積と巨大化（法人組織を否定できる？）

個人企業家の連合体

個人事務所・工房（デザイナー事務所、スタジオ・ジブリ）

大学 学生の組合、教師の組合？ 鉄道、電力、安全・安心の規格？

取引費用（R.コース）？ IT化は取引費用をどこまで縮小するか？ 配分の合意は？

競争入札

うまく行っている事業を阻害しないか。 根拠のない高額入札。 逆に資産浪費は？

規模の利益 生活水準の低下 喜んで受け入れるか？ 森林生活学？

（3）どう考えたらよいか

社会全体を一挙に変えることはできるか。

革命が可能としても、取るべきかどうか。

「以上の展望への移行が平和的に実現するか否かは一概には断定できない。」（シ12）

自発的合意に基づいて万人起業家社会に移行する。

可能か。 時間尺度の取り方によっては、実現の可能性は見えてきた、ともいえる。

時代／経済環境の変化：組織から情報・知識の時代へ

米 大企業 企業内起業家、企業を渡り歩くシンボリック・アナリスト、MBO

米有名大卒業生の夢＝ベンチャー起業家

日 企業忠誠心の弱まり 生活クラブ生協 ワーカーズ・コレクティブ 女性起業家

退職者起業家 >> 日本経済の深部における基層的変質（シ12）

21世紀

ネットワーク化、SOHO、女性企業の急増（シ19）

地域企業の調査（後2） 下請け・孫請けなど小企業主=>「元気澁刺にとして意気盛ん」

マイクロ・ファイナンス（M.ユヌスのグラミン銀行）（後4「希望はどこに」）

資本の平等を実現する重要な実例

「理念[が]欠ければ単なるサラ金・闇金・高利貸しと変わらぬことになりかねない」

万人起業家社会の理想に向けて、さまざまな成功例を作っていく。

NPO、社会企業家、

いま、われわれが考えなければならないこと

流動性の高まる時代（典型例：ITシステムの構築に携わる技術者）

個人の才能/才覚が重要、育つもので育てられない。

一企業にとどまることは社会的損失。

しかし、日本はかれらのキャリア形成を助けているか。

とうめんは、国家（中央政府、地方政府）の力が必要では。

（4）内部観察と経済

「経済学は本来、内部観測的に構成されるべき学であったろうが、現実には外部観測の典型になってしまっている。」（シ19, p.97）

内部観測とは

松野孝一郎「多粒子系が与えられたとしてみる。...理論家は全系のエネルギーがある一定値に保たれている、との定常境界条件を設定するのを当然とする。...しかし、全体を一望のもとに見下ろす理論家と内部から見上げる個々の粒子との間には...重要な違いがある。多粒子系を構成する核粒子は相互の微視的相互作用を介してのみ全系のエネルギー・[保存を検知し、かつそれを実現する。] (シ 19, p.88 より孫引き)

現実には外部観測の典型>>一般均衡理論批判

ワルラスの一般均衡理論 (Arrow & Debreu の一般競争理論、現在の DSGE もここに基礎)

各財・サービスごとの超過需要関数を想定>>一均衡の存在

各財・サービスごとの超過需要、均衡解の存在 >> 外部観測的

内部観測的に構成されるべき学

市場経済／市場 (いちば、市場) >> 典型は証券取引所ではなく、相対取引
相対取引による交換のネットワークがなぜあるていどうまく機能する/働くか。

経済と経済学に必要な観点

内部観測論でふつうの人に分かるように展開してもらいたかった。